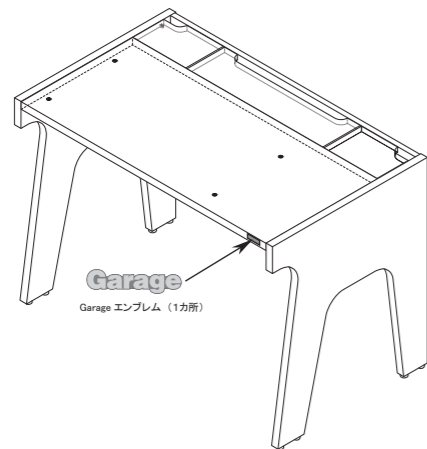


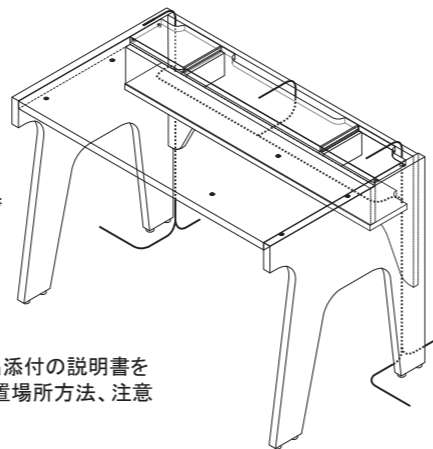
Garage エンブレム貼付について

ガラージ製品を末永くご愛用いただけますよう、Garage エンブレムを添付させていただきました。



配線について

天板下奥側の配線ダクトに、余長配線を入れておくことができ、配線のゴチャゴチャをスッキリできます。その配線ダクトから、天板板にも配線できますので、携帯電話や、携帯音楽プレイヤーなども、天板部に置いて充電ができます。

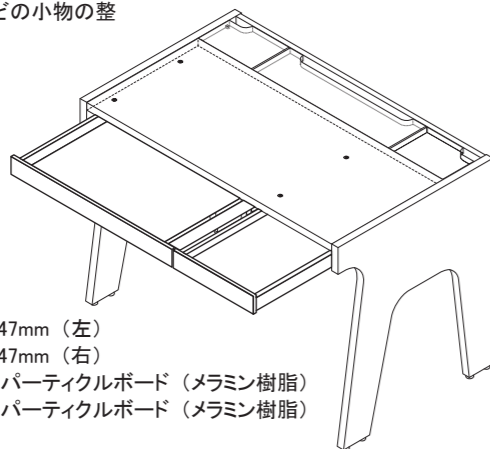


ご注意ください。  
●電気製品は、電気製品添付の説明書をお読みにになり、その設置場所方法、注意事項をお守りください。

オプション（別売）のご紹介

引出セット（大、小セット）

天板下にセットできる引出をご用意しております。大、小の2サイズセットになります。文房具などの小物の整理にお役立て下さい。



引出の仕様

サイズ（内法）  
大：W593×D346×H47mm（左）  
小：W218×D346×H47mm（右）  
前板：合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）  
本体：合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）  
底板：化粧合板

**警告** ●積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。  
●廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

**注意** ●火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。  
●天板の外周に片寄って重いものをのせしないでください。倒れてケガをすることがあります。  
●天板に60kg（等分布加重）以上のものをのせしないでください。天板が破損してケガをすることがあります。  
●天板にのったり、腰掛けたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。  
●各部のネジ類がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてケガをすることがあります。  
●異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。  
●用途以外に使用しないでください。事故やケガをすることがあります。

■一般のご注意

・直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。  
・移動するときは2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。  
・高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。  
・天板の上に水などをこぼしたら、直ちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれたりすることがあります。  
・換気励行のお願い  
製品購入時、化学物質の発散を感じる場合があります。暫くの間は、換気を十分行うよう心掛けてください。また、室内が著しく高温多湿(気温28度、湿度50%超)になる場合には、窓を閉め切らないか、強制換気を行ってください。

品質表示 AT-106H  
■外形寸法：  
幅 1000× 奥行 600× 高さ 700 mm  
■甲板の表面材：  
合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）  
■表面加工：  
合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）  
■取扱い上の注意  
直射日光または、熱を避けてください。  
過熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないでください。  
■プラス株式会社 ガラージ事業部  
東京都千代田区三番町6-14

made in TAIWAN

**お手入れ方法**

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。  
※シンナー、アルコール類は使用しないでください。

**お問い合わせ先** 製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター / Tel.0120-331-753 (9:00~18:00 土日曜祝日、年末年始を除く)

at! デスク 組立説明書

組み立ての前に必ずお読みください。  
不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。  
重量がありますので、必ず2人以上で組み立ててください。



注意

- 工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- 組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。
- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。

最初に必要なパーツがそろっているか確認してください

at! デスクAT-106Hは、以下の3ヶ口になります。（ご購入時の商品コードと、各部品の商品コードは異なります。）

部材

使用工具 +ドライバー

no.2(中)、no.3(太)の両方をご用意ください

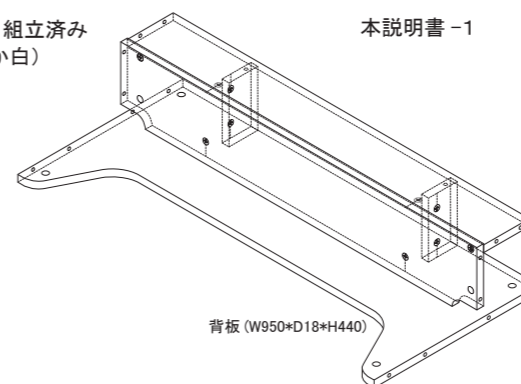


背板ユニット（配線ダクト含む）

- 414827 AT棚デスク背板 AT-106H-B 白木
- 414828 AT棚デスク背板 AT-106H-B 濃木

背板ユニット-1 組立済み  
（背板木目、ほか白）

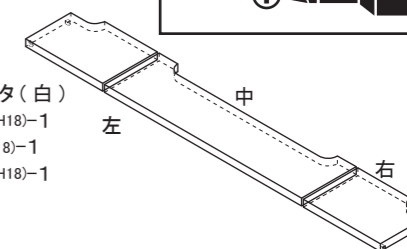
本説明書-1



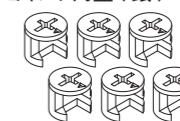
背板 (W950×D18×H440)

配線ダクト用フタ（白）

- 右 (W207.5×D147×H18)-1
- 中 (W531×D147×H18)-1
- 左 (W207.5×D147×H18)-1



ジョイント円盤（銀）-6 (Φ15×13)



棚ダボ（銀）-4 (Φ5×16)



ジョイント円盤キャップ（有色）-2



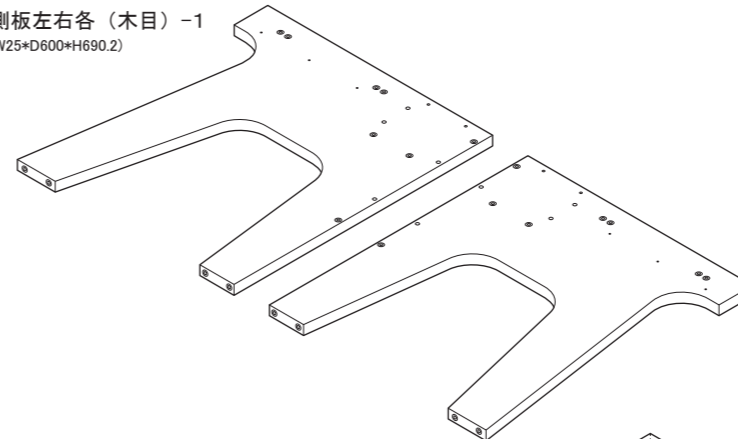
六角レンチ（銀）-1  
(4mm)



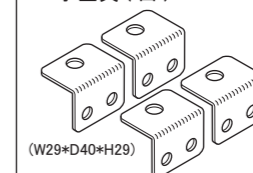
側板

- 414825 AT棚デスク側板 AT-106H-S 白木
- 414826 AT棚デスク側板 AT-106H-S 濃木

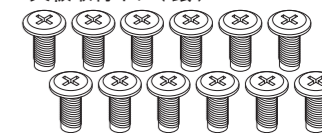
側板左右各（木目）-1  
(W25×D600×H690.2)



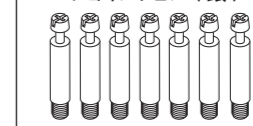
L字金具（白）-4  
(W29×D40×H29)



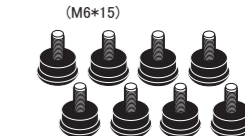
天板取付ネジ（銀）-12 (M6×15)



ジョイントピン（銀）-8 (M6×8)

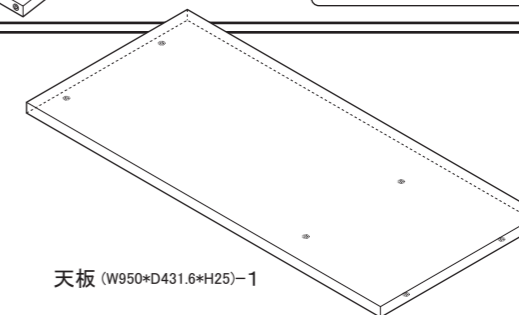


アジャスター（灰）-8 (M6×15)



天板

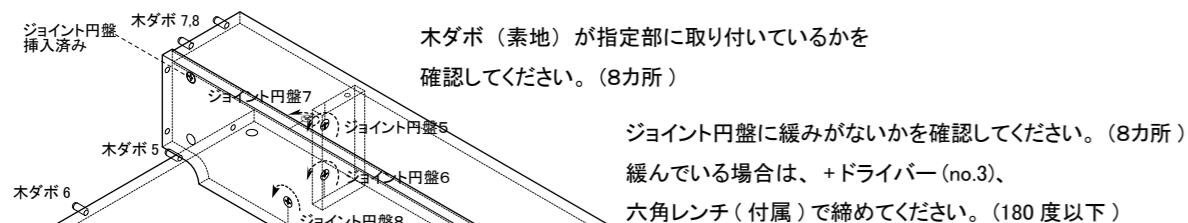
- 414829 ATデスク天板 AT-106H-T 白
- 414830 ATデスク天板 AT-106H-T 白木
- 414831 ATデスク天板 AT-106H-T 濃木



天板 (W950×D431.6×H25)-1

Garage  
エンブレム  
(W36×D0.8×H9)-1

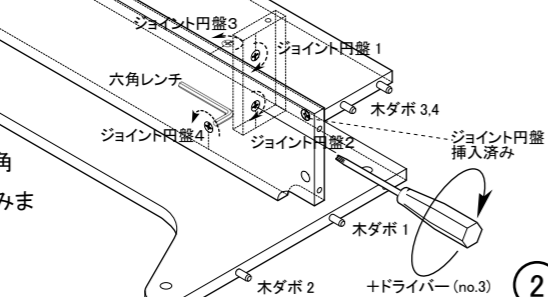
① 背板ユニットのジョイント円盤と木ダボが取り付けられているかを確認します。



木ダボ（素地）が指定部に取り付けられているかを確認してください。（8カ所）

ジョイント円盤に緩みがないかを確認してください。（8カ所）  
緩んでいる場合は、+ドライバー（no.3）、六角レンチ（付属）で締めてください。（180度以下）

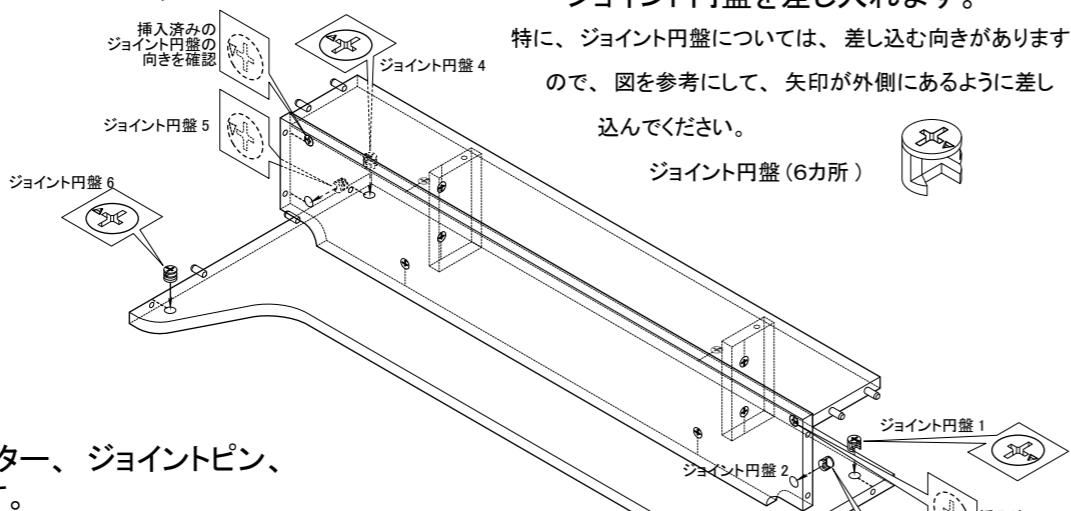
+ドライバー（no.3）で締められる箇所は、+ドライバーで、ドライバーが入らない箇所だけを、六角レンチを使うようにすると作業が早く済みます。



② 背板ユニットにジョイント円盤を差し入れます。

特に、ジョイント円盤については、差し込む向きがありますので、図を参考にして、矢印が外側にあるように差し込んでください。

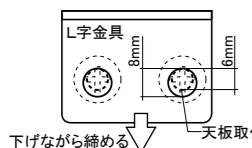
ジョイント円盤（6カ所）



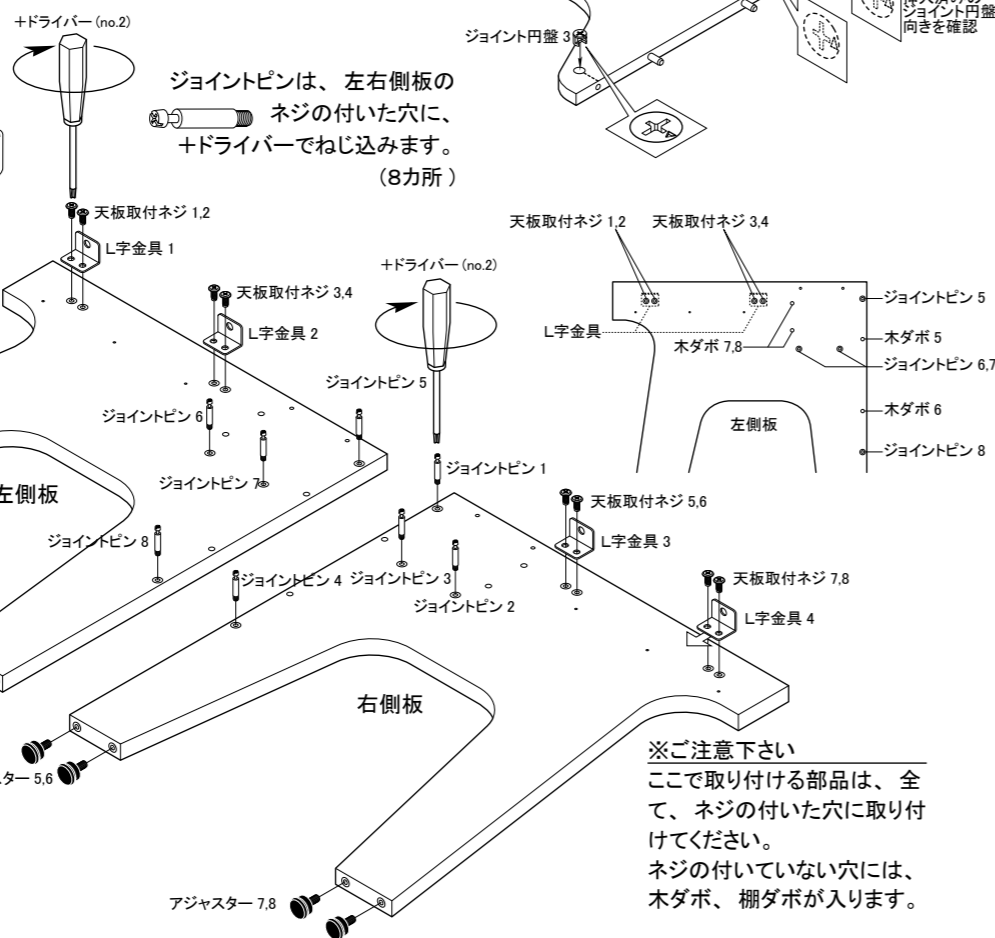
③ 左右側板に、アジャスター、ジョイントピン、L字金具を取り付けます。

L字金具は、ネジの付いた穴に、+ドライバーでねじ込みます。（4カ所）

**L字金具取付に際しての注意**  
L字金具取付に際しては、L字金具を下側に下げながら、天板取付ネジを締めてください。（L字金具側の穴径8mm、取付ネジ太さ6mmの差があるため。）



ジョイントピンは、左右側板のネジの付いた穴に、+ドライバーでねじ込みます。（8カ所）



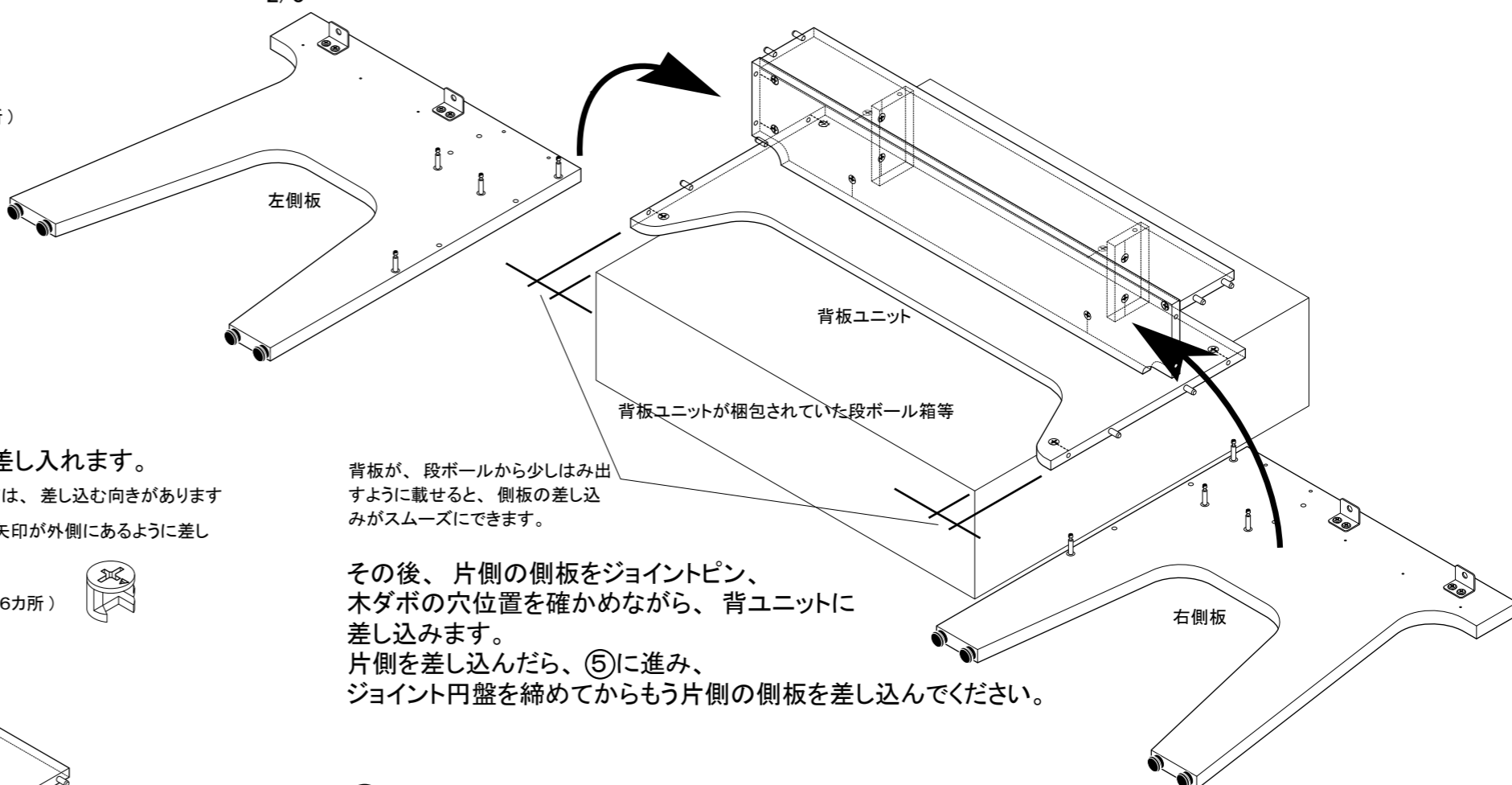
※ご注意ください  
ここで取り付ける部品は、全て、ネジの付いた穴に取り付けてください。  
ネジの付いていない穴には、木ダボ、棚ダボが入ります。

アジャスターは、脚端部に、手でねじ込みます。（8カ所）



AT-106TH  
20100906  
2/3

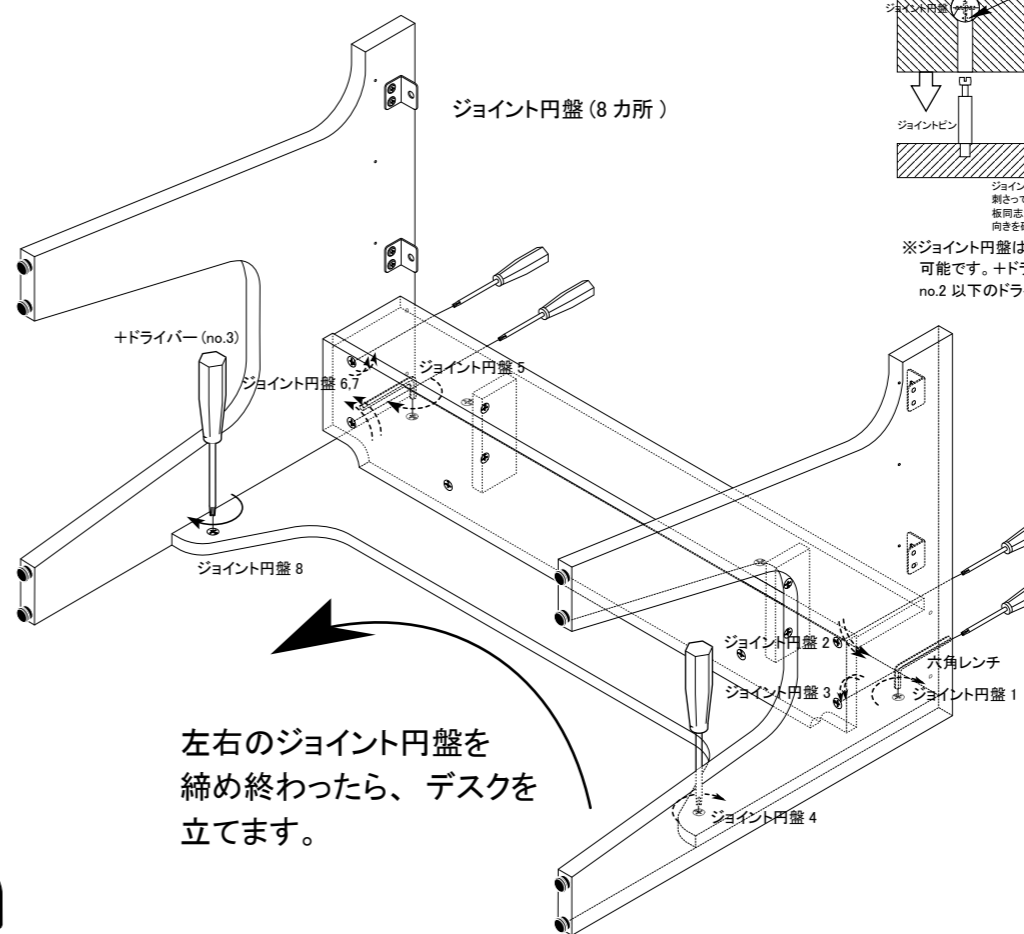
④ 背板ユニットを、段ボール箱などに載せ、左右側板をその左右に置きます。



背板が、段ボールから少しはみ出すように載せると、側板の差し込みがスムーズにできます。

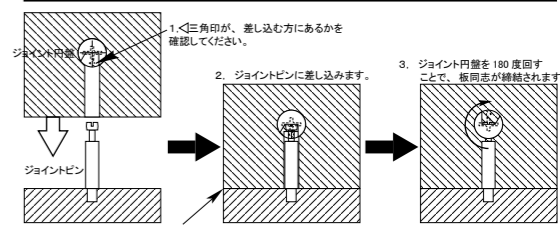
その後、片側の側板をジョイントピン、木ダボの穴位置を確かめながら、背ユニットに差し込みます。  
片側を差し込んだら、⑤に進み、ジョイント円盤を締めてからもう片側の側板を差し込んでください。

⑤ 側板を差し込んだら、背ユニット側のジョイント円盤を締めます。



左右のジョイント円盤を締め終わったら、デスクを立てます。

ジョイントの説明

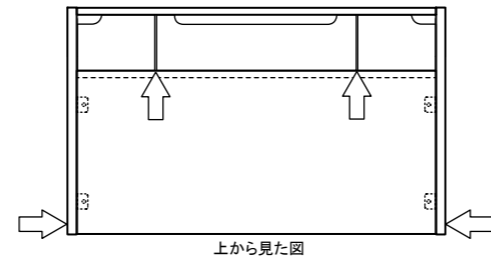
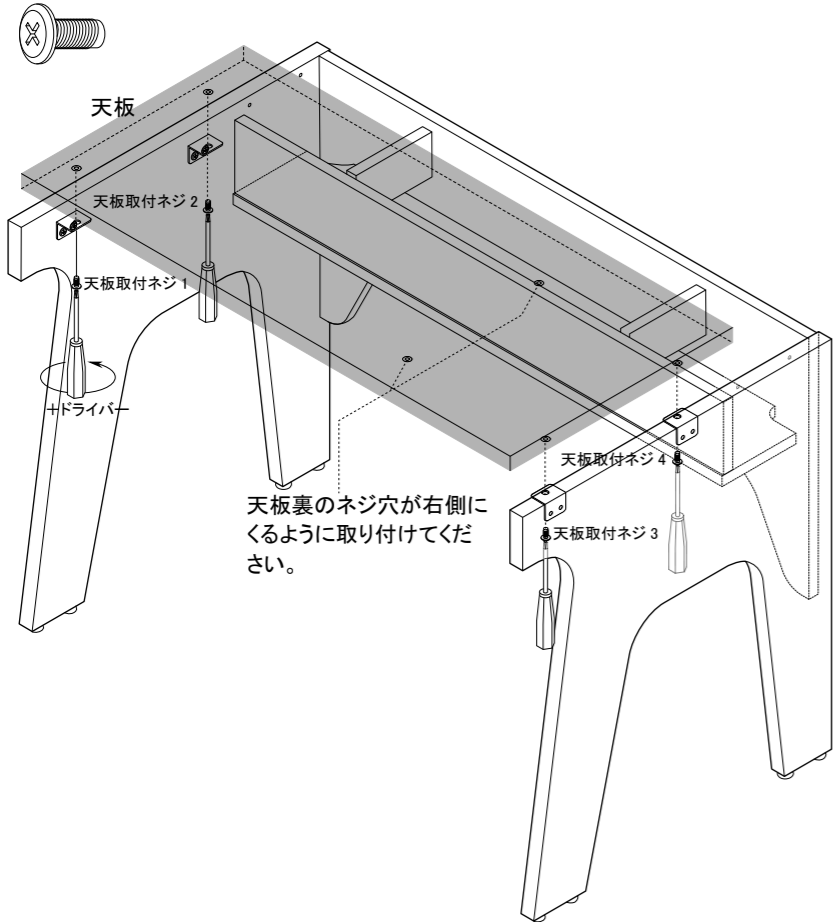


※ジョイント円盤は、付属の六角レンチ、+ドライバー（no.3）のどちらでも使用可能です。+ドライバーをご使用の場合、no.3（太）を使用してください。  
no.2以下のドライバーでは、ネジ頭（十字穴）をなめる可能性があります。

+ドライバー（no.3）で締められる箇所は、+ドライバーで、ドライバーが入らない箇所だけを、六角レンチを使うようにすると作業が早く済みます。

⑥ 天板をL字金具に取り付けます。

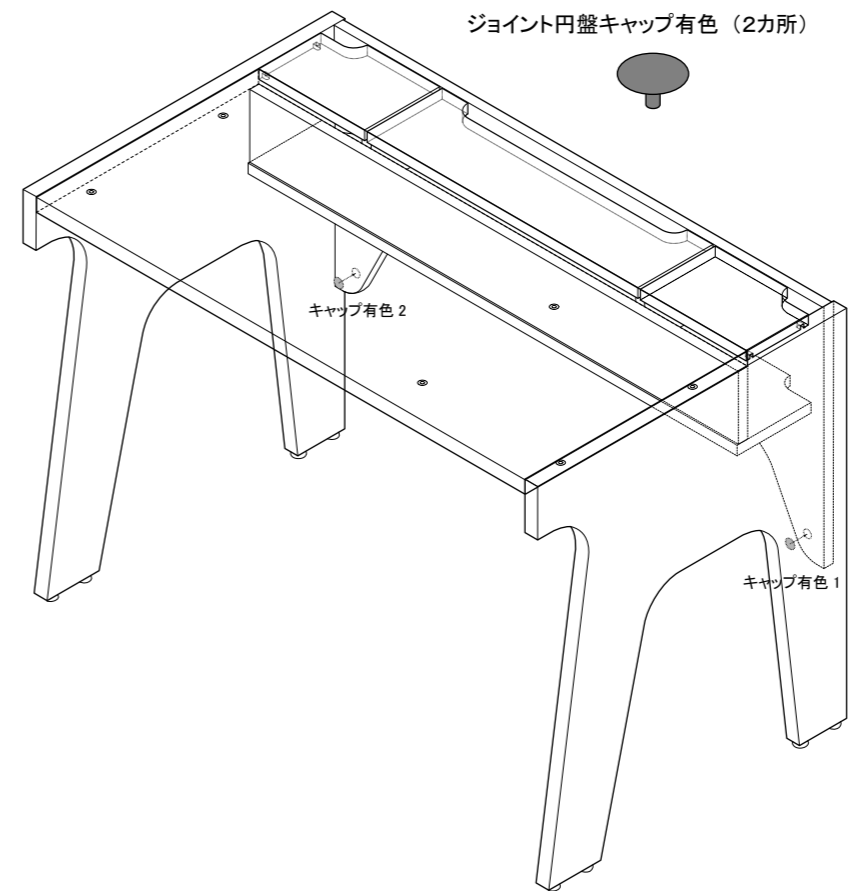
天板取付ネジ (4カ所)



天板が奥まで突き当たっているか、左右側板との隙間が無いかを確認して、天板取付ネジを締め付けてください。  
特に、側板の前方は、背板側を先に締めている都合上、開き気味になりますので、外側から押しながら、開きを無くしてから締めて下さい。

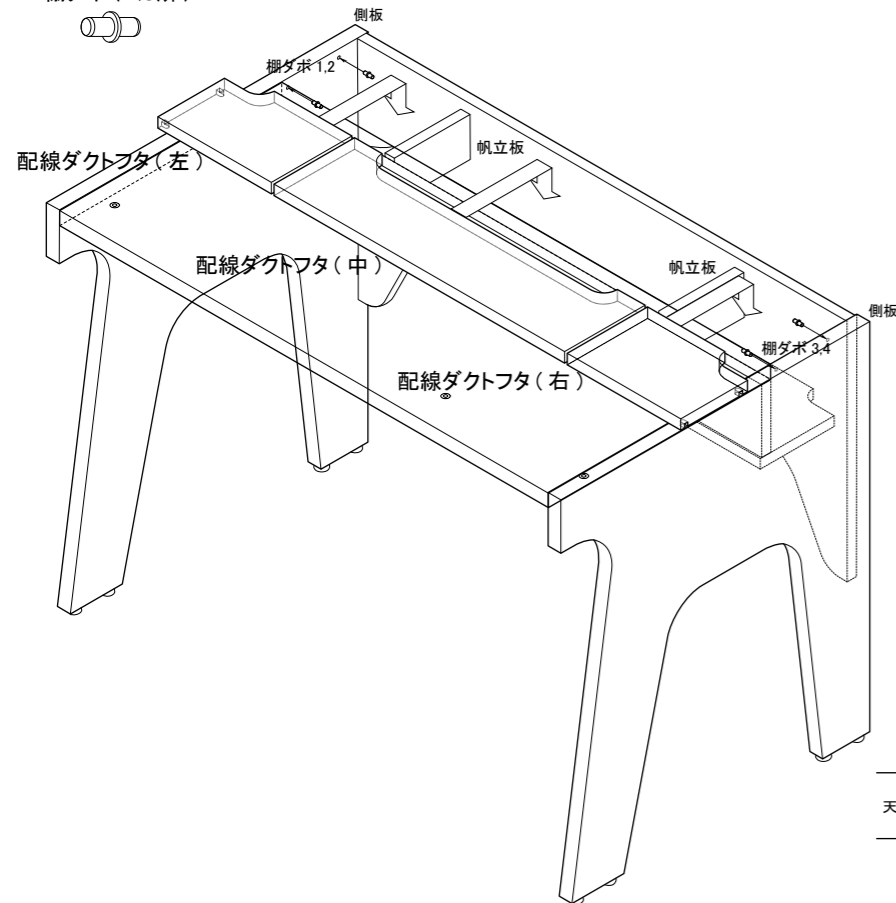
AT-106TH  
20100906  
3/3

⑧ ジョイント円盤の緩みがないか確かめながら、ジョイント円盤キャップをはめて完成です。



⑦ 側板内側にある穴に、棚ダボを差し込み、配線フタを落とし込みます。

棚ダボ (4カ所)



※ご注意ください  
配線ダクト用フタの取り外しは、斜め手前に上げると、フタが外周にあたり持ち上がりにくくなります。できるだけフタを垂直に持ち上げるようにしてください。  
上に棚板がセットされている場合は、上の棚板を外してから、配線ダクト用フタを持ち上げるようにしてください。

